

最短距離でストレスのない喫煙環境

〈喫煙ブース『スモーククリア』〉



中央通路に設置することで喫煙ブースが多くの来店客の視野に入る



カウンターやトイレなどの動線にも設置



遊技台から最短距離で喫煙できる

宮崎県と鹿児島県でホール6店舗を運営するオーパス。行動方針である『3C』（チャレンジ・チャンス・チェンジ）を実践し、地元の常連客が安心して楽しめる遊技空間を提供し続けている。

今年4月からの改正健康増進法の施行を見据えて、鹿屋店では2月上旬にエルゴジャパンの『スモーククリア』を導入した。

鹿屋店では1人用ブース5台、

4人用ブース5台の計10台を設置。グループ店で『スモーククリア』を先駆けて導入した小松台店（宮崎）の利用状況などを確認して、使用頻度の高い中央通路やカウンター前などに設置を決めた。

「事前に自店の喫煙率を調べたところ喫煙されるお客様は5割以上でした。完全分煙となる4月以降、どこで遊技をしていても近くで吸える環境を整備して、お客

様のストレスを少しでも軽減できればと考えました」と話すのは長野誠也マネージャー。

遊技台までの移動距離が短い中央通路に設置することで稼働口スを防ぎ、カウンターやトイレなどの動線にもブースを設置したことで、目的場所の行きと帰りに気軽に喫煙できる環境を整えた。

また、4月以降も喫煙ブースの設置場所や使用頻度などを見て、設置場所の変更

や増設する可能性もあるという。短時間で施工できる点や、設置後の移動が容易な点も長野マネージャーは評価する。

喫煙ブースの設置と同時に、4月からの完全分煙についてPOPを設置。来店客からの反応は大きいという。

「法改正について知らないお客様が多く、店内POPやチラシで分煙について伝えていきます。4月は変化の月であり、新規ユーザー獲得などのチャンスでもあるので、行動方針である『3C』を着実に実行していきます」

「お客様の中には『もう吸えない』と思っておられるお客様も少なくないです。4月以降はカーペットの張り替えなど、たばこの煙や臭いがない環境改善に取り組んでいく予定です。

「喫煙環境の変更を前向きに捉えています。4月は変化の月であり、新規ユーザー獲得などのチャンスでもあるので、行動方針である『3C』を着実に実行していきます」



4月以降の喫煙についてはPOPを掲示